

本日は金曜日である。日比谷公園の野外小音楽堂では東京消防庁音楽隊による金曜コンサートが行われていた。警視庁音楽隊が水曜コンサートを同じ場所で行っている。貰ったパンフレットを見て新発見一つ。警視庁音楽隊は日本陸軍最後の音楽隊長であった山口氏の尽力により創設され、東京消防庁音楽隊は、旧海軍出身者を主体として発足したとのことである。両音楽隊が、共に旧軍と関係があるというのが面白い事実である。夫々の音楽隊は、昭和23年及び24年と発足とその歴史は古い。



さる10日に待望の、大時代的に言えば「嫡孫」の誕生である。嫡男の嫡男を嫡孫と称するのだそうだが、何れにしても跡取りと言うか山下を受け継いでくれる者が誕生したことは田舎の親父共々嬉しい限りである。小生も3人の孫持ちとなった。孫娘2名に嫡孫1名である。男の孫は孫息子とは称さないようだが、・・・

初見参である。母子共に異常なく元気で一安心である。孫とは不可思議なものである。何時まで見ていても飽きないものなのだ。また、孫娘二人の歓喜振りにはただ驚かされるばかりであるが、何れにしる孫達が仲良きことは良いことである。

ただ眠っているだけの孫を眺めつつ着想を得た七言絶句

歛嫡孫誕生 (押韻は五「徴」 仄起式)

「待 望 嫡 孫 十 里 暉
以 充 佳 氣 作 芳 菲
爺 婆 屢 面 大 歡 喜
立 志 雄 駟 祈 永 輝」

どのような子供になるのだろうか、楽しみである。小生の足腰の健在な内に大いに遊ばたいものである。

入社して、皆のお祝いを受けつつ、当社が昨年10月に創設した孫休暇制度を思い出した。初めてのことであり、新設された孫休暇制度の恩恵に浴してみるのも面白かろうと特別公休を申請した。当孫休暇制度は、孫の生まれた社員に対し3日間の特別公休を与え

るものである。本来は娘の出産を支援したいとの母親社員の要望を受けたものであり、男たる小生などは、嫁の出産の手伝いなど考えられない身でもあり、本来趣旨からは申請は適当ではないのかもしれないが、特段の条件はないので、申請をした次第である。

因みに、今年3月配信のフジサンケイ ビジネスアイによると生保各社で相次ぎ子育て支援制度の創設が相次いでいるという。

その概要は以下の通りである。

- ① 朝日生命保険：子供が3歳になるまで月額1万円補助
- ② 住友生命保険：小学校入学まで月額1万円補助
- ③ 第一生命保険：孫誕生休暇制度の導入

この孫休暇制度は、言うまでもなく全国で初めての制度である。女性職員の多い会社では今後このような取組みがなされるのだろう。

4月10日のサンケイウェブによれば、職場内保育園が相次いで開園されているという。採り上げてあるのは、陸上自衛隊三宿駐屯地の託児所他の事例である。

陸上自衛隊三宿駐屯地には、中央官庁としては二番目、勿論防衛省としては初めての託児所「キッズガーデン三宿」がオープンした。10時間保育、緊急時は24時間預かりも可能である。32人の定員は満員らしい。今後はこの成果を踏まえ、同様施設を全国の駐屯地に拡充させることとなる。中央病院勤務の女性看護官には有り難い施策である。

小生が練馬駐屯地に勤務していた平成11年頃、駐屯地内にWAC(女性陸上自衛官)のために託児所を作って欲しいとの要望もあり、検討をしたことがあったが、それが実現した訳である。両親が近く住んでいて手助けが出来るのであれば兎も角、一般的には小さい子供の居る女性自衛官は非常呼集に応ずることも難しい面もあり、まして長期不在となる演習参加にも制約があった。

さる4月2日に「キッズガーデン三宿」の「庁内託児所開所式」が、多数の来賓と関係者が列席して行われた。木村防衛副大臣の挨拶、来賓祝辞、保護者代表の挨拶やテープカット、託児内の案内・視察が行われた。(防衛ホームの記事から)

サンケイウェブの記事には、更に2つの事例が紹介されている。

- ① 東大医学部付属病院(東京都文京区)にオープンした「いちよう保育園」も看護師確保の必要性から開設された。同大は研究者や学生・院生のための学内保育園を今夏にも開設する方針だという。
- ② 羽田空港の保育所は、ターミナルビル「ビッグバード」3階にある。空港職員や航空会社、物販店従業員らのうち約4割が女性だけに、開設の要望が高かったということである。定員80人。

特に女性の多い組織では、このような取組みが更に進展するものと思われる。